



株式会社シバタ

本社	愛知県北名古屋市西之保宮前58番地
SS名	Enejet平和が丘SS
上記SS所在地	名古屋市名東区平和が丘5-55
HP	https://shibata-corp.co.jp/

愛知県下に4店舗のSSを展開すると同時に時代の変化へ対応する意識と柔軟性を重視。SS事業を軸に、独自に開発して特許取得もしたウルトラファインバブル（UFB）技術「シバタエンジン」での新事業展開に取り組む。
多角的な事業展開や失敗を恐れない企業風土のもと、サービス業であるSS事業とものづくり企業の両輪の経営を展開。
蓄積してきたUFB技術の活用により、環境改善や人手不足といった社会問題への対応にも貢献。



SS事業に加え、ものづくり企業としての側面を併せ持つ事業展開

取組の内容



- SS事業の他に新規事業の柱として微細な気泡を水中に生成するUFB技術に着目。
2015年に東芝との洗濯機の共同開発において、小型化と低コスト化の2つの課題をクリアしたノズル型のUFB生成製品を開発（「シバタエンジン」）。
- UFBによる水自体の洗浄能力の向上とシバタエンジンの小型化優位性（最小1cmほどで取付が容易）をもとに、
家庭内のキッチン関係、クリーニング業界、歯医診療台、
外食産業、美容業界、農業関係といった水に関係する
様々な業界への提案を展開。
- UFBと純水の組み合わせに着目し、高品質な機械洗車が
可能となる後付け可能な機械洗車向け純水ファインバブル
洗浄装置「純洗」を開発・販売し、自社SSへの設置の
みならず、他SSへの提案も行っている。
- SS事業の強み（来店頻度の高さ）を活かした新たな業務
としてスマホ修理事業も展開。修理の引渡し時にガソリン
割引などのLINEクーポンを案内するなどの取組がリ
ピート客の獲得につながっている。

ここがポイント

①時代の変化へ対応する意識と新事業展開への先見性・実行力

- ・ 柴田社長は常に新しい技術・アイデアにアンテナを張りつつ、大切にしている幅広い人脈での情報収集・交換から、日本が先進分野であるUFB技術に着目し、2009年に開発に着手（2005年愛知万博でも関連技術が紹介された）。
- ・ 豊富な人脈をフル活用し、技術開発に必要な幹部人材を確保してものづくりノウハウの蓄積を進めるとともに、
協力工場との連携による製造や大手家電メーカーとの共同開発を行うことで、水道圧だけでUFBを生成する現在の
ノズル型製品の開発に成功。

②多角的な事業展開での相乗効果

- ・ SS事業だけでなく、複数の事業部を持つことで、異なる立場の従業員間のコミュニケーションが生まれ、新しいア
イデアや刺激が生まれる。事業部に蓄積されたUFBノウハウと水を多く使うSS業界での応用可能性を探る営業部の
連携により、様々な業界への提案が可能に。「純洗」の開発も元々は純水とUFBで別々だった技術を組み合わせると
差別化につながるという発想からのもの。
- ・ 水の洗浄効果を高めるUFB技術の活用で、節水や低温での高圧洗浄による省エネ・カーボンニュートラルや作業効率
向上による人件費や労働時の負担軽減が可能となり、環境改善や人手不足といった社会問題への対応にも貢献。

③失敗を恐れずに挑戦を促す企業文化

- ・ 日常的に新しい事業や挑戦に取り組む企業文化が根付いており、スマホ修理業もその発想の中から展開したもの。
- ・ SS事業との親和性に必ずしもこだわらず、過去にはフィットネスジム、飲食業、介護用品レンタルなど、関連性の
薄い多様な事業に挑戦・展開した歴史もある。
- ・ 新規事業への参加は従業員と丁寧に話し合い、納得の上で進めている一方で、SSではスマホ修理の収益やアプリ獲
得件数なども評価対象となるインセンティブ制度を設けて従業員の積極的な参加を促している。

UFB技術の特性を
踏まえた、多様な
用途でのプロジェ
クトが遂行中！